

2004年7月21日

コンビ株式会社

社長:松浦 弘昌 資本金:29億9,192万円
(東証第一部: 7935)
〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7
TEL: 03-5828-7666 FAX: 03-5828-7665

接触性皮膚炎における 乳酸菌 EC-12 の炎症抑制効果についての発表

第34回日本皮膚アレルギー学会(2004年7月17日~18日富山で開催)

コンビ株式会社は、当社が開発した乳酸菌 EC-12 において、接触性皮膚炎への炎症抑制効果が新たに検証され、学会にて結果発表がされましたことをお知らせします。この件は、コンビと北里大学医学部皮膚科学との共同で、第34回日本皮膚アレルギー学会で発表されました(2004年7月17日~18日富山で開催)。

接触性皮膚炎(金属アレルギー、松やにアレルギー等)に対しては、現在ステロイド剤や抗ヒスタミン剤の外用や内服などの投与が対処療法として行われ、症状の改善はありますが、副作用の心配が懸念されています。実際に根治するには原因物質との接触を断つ以外に治療法はないのが現状です。

今回の試験検証により、長期服用しても副作用の心配の無い機能性食品として EC-12 を摂取することにより、より安全に QOL(クオリティ オブ ライフ)の向上が期待できます。

<以下、発表内容要約>

北里大学医学部皮膚科学・勝岡憲生主任教授以下 藤村響男講師、中野敏明医師らにより、2002年よりコンビ(株)の乳酸球菌加熱処理菌末「EC-12」摂取による皮膚アレルギー抑制効果の検証試験が行なわれ、EC-12 の摂取が接触性皮膚炎による皮膚アレルギー症状の軽減に有用であることを示す結果が得られた。

BALB/C マウスにおける DNFB(ジニトロフルオロベンゼン)接触皮膚炎モデルを用いて EC-12 の抗炎症効果のメカニズムについて解析を行なった結果、EC-12 の摂取は、一時刺激性皮膚炎、アレルギー性接触性皮膚炎の両炎症に抑制的に作用し、さらに感作の成立の減弱が示唆された。またヒト金属アレルギーに対する抑制効果について検討するため、金属アレルギーを有する患者を対象に2ヶ月間 EC-12 を1日あたり600mg 毎日摂取してもらい、EC-12 摂取前と摂取2ヵ月後にパッチテストを施行し、その反応により評価した。その結果、ニッケル及び金に対してパッチテストの反応低下が認められた。松脂(まつやに)アレルギーを有する患者に対しても同様に EC-12 の摂取によりパッチテストで松脂の顕著な反応低下が認められ、その有用性が示唆された。

金属アレルギーは、時計やネックレス、ピアス、眼鏡などの金属装飾品や、口腔内の歯科用金属、また口紅やファンデーションに含まれる金属が原因となって引き起こされるアレルギーで、

Press Information

特定の金属でアレルギーになるとその金属に接触した場合何度でも発症する。また 松脂も皮膚に付着するとかぶれを起こし、松脂を職業上日常的に使用するバイオリンやチェロなどの楽器奏者や野球、ハンドボールなどのスポーツ選手などにおいて松脂アレルギーは深刻な問題である。

このような金属アレルギー、松脂アレルギーに対してはステロイド剤や抗ヒスタミン剤の外用や内服による治療により症状の改善をみることはできるが、原因物質との接触を断つ以外に根本治療はないのが現状である。長期服用しても副作用の心配の無い EC-12 は、金属アレルギー、松脂アレルギーの症状を改善する食品として QOL の向上に利用できる。

以上